



Title	未来共創 8号 目次
Author(s)	
Citation	未来共創. 2021, 8
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/83892
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

未来共創

Mirai Kyoso: Journal of Collaborative Future Creation

2021

VOLUME
8

目次

発刊にあたって 渥美公秀001

・

論文

米国に住む「日本人ゲイ」により語られる物語／語りに関する研究
—どのように自身の性的マイノリティ性と人種・民族的マイノリティ性について物語るのか
富安皓行003

性暴力被害とトラウマを再考する
—新自由主義とポストフェミニズムの観点から 井上 瞳031

・

特集 レジリエンス

特集にあたって—コロナ時代に考える「レジリエンス」 木村友美、織田和明064

人間のレジリエンスとナラティヴ 日高直保069

人類進化におけるレジリエンス 中野良彦085

レジリエンスについて災害研究を通して考える 渥美公秀109

医療とレジリエンス 小笠原理恵、モハーチ・ゲルゲイ123

・

フォーラム「共生／共創の多角的検討」

共生／共創の多角的検討—1
違和感とフラストレーションを起点とした協同的オートエスノグラフィ—
片田真之輔、大川ヘナン、なかだこうじえんりけ145

共生／共創の多角的検討—2
「共同翻訳」から始まる共生/共創—上辺だけではない議論と実践のために
桂悠介、佐々木美和、八木景之177

・

研究ノート

介護予防・日常生活支援総合事業における利用者の活動と社会資源
—地域のなかの通所型サービスを事例として **寺村 晃** 209

私立大学Aにおける留学生の防災力に関する研究
—日本人学生と比較して **高 誉文** 233

パレスチナを巡る占領政策の一考察
—集团的懲罰としての連座刑の視点から **島本奈央** 253

・

報告

未来共生プログラム コミュニティ・ラーニング2020報告
あの日から10年、野田村の想い
—改めて考える岩手野田村でのフィールドワーク **石塚裕子、渥美公秀** 275

コロナ時代に考える多文化共生—まなびのカフェのイベントを通じて
**小笠原理恵、木村友美、坂口ピーター、ゼア・ローズ、
クラウディア・エリウス・オセゲダ・フィゲロア** 292

G30プログラムと共創の場を目指すために **中野良彦** 308

マイノリティ教育ラボ 活動報告
コロナ禍における学生のボランティア活動
秋山みき、砂原なごみ、田岡里彩、中西美裕、井上温子 318

・

書評

平野晋『ロボット法—AIとヒトの共生にむけて』 **池田健人** 330

Asad Haider, *Mistaken Identity: Race and Class in the Age of Trump*
安藤 歴 334

東畑開人『居るのはつらいよ—ケアとセラピーについての覚書』 **富安皓行** 338

・

エッセイ

“環境先進国”の见えない代償 **岩根あずさ** 342

がんとの共生 **石蔵文信** 346

死に方との共生 **山中浩司** 350

「共生のジャーナリズム」考 **脇阪紀行** 354

・

編集後記 **木村友美** 359